

資料編

1 アンケート各種

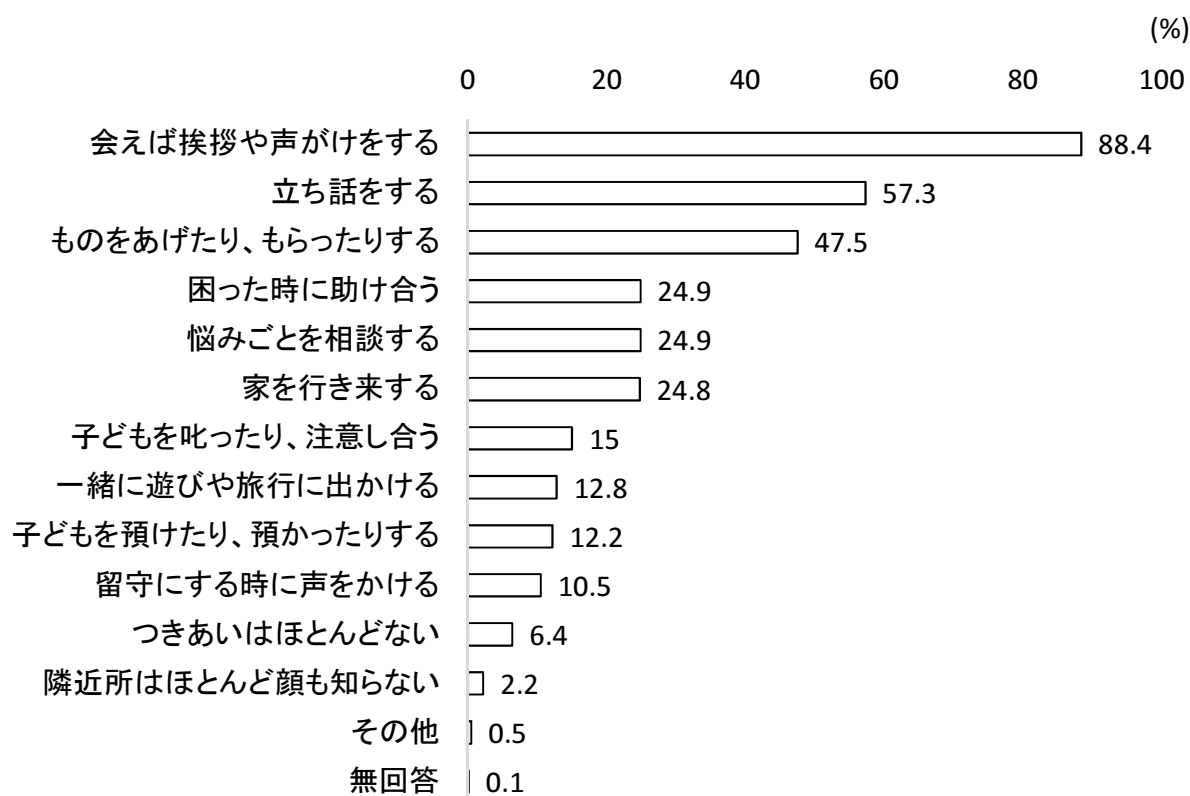
(1) 市民アンケートの結果

①地域との関わりの状況

あなたのご家庭では、ご近所とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(子育て支援に関するアンケート調査より：問9)

「会えば挨拶や声かけをする」の割合が88.4%と最も高く、次いで「立ち話をする」の割合が57.3%、「ものをあげたり、もらったりする」の割合が47.5%となっています。

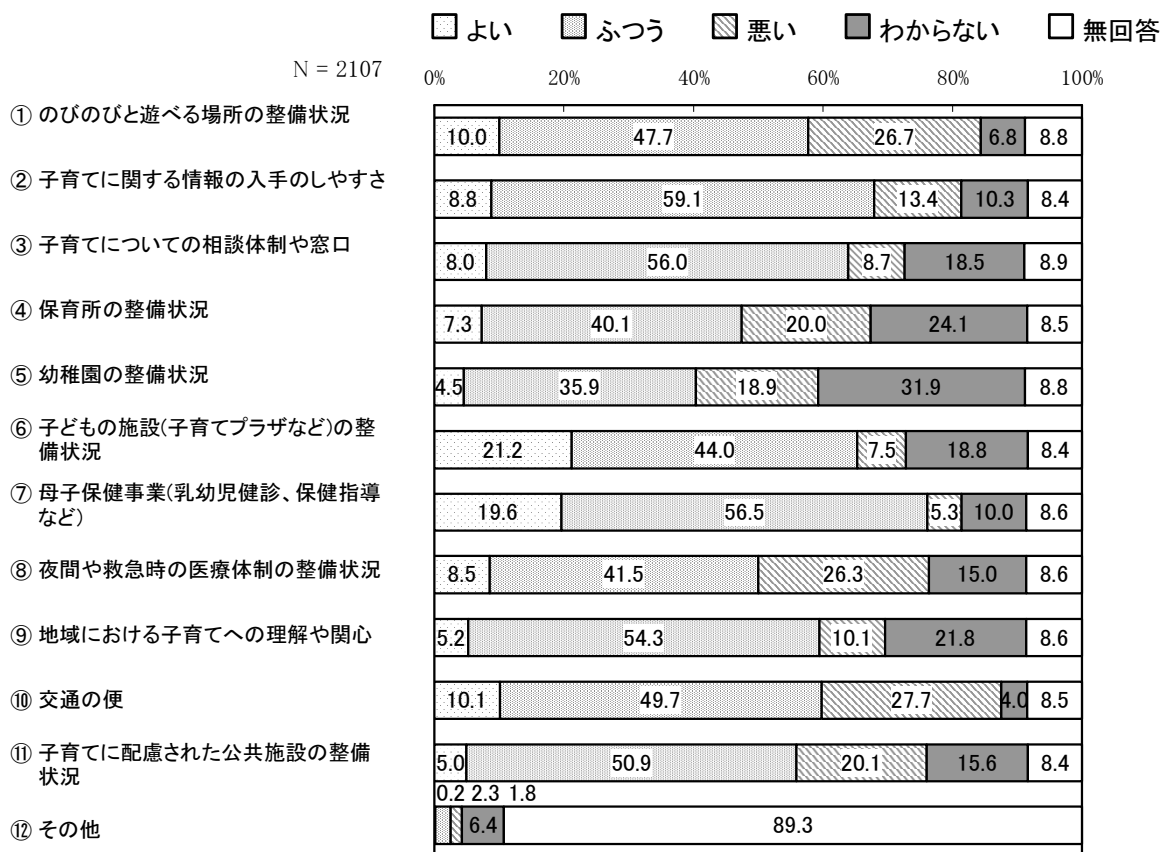


加古川市における子育て環境について、どのように感じていますか。①～⑫のそれぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(子育て支援に関するアンケート調査より：問11)

「⑦母子保健事業（乳幼児健診、保健指導など）」の「よい」「ふつう」の割合が76.1%と最も高く、次いで「②子育てに関する情報の入手のしやすさ」の割合が67.9%、「⑥子どもの施設（子育てプラザなど）の整備状況」の割合が65.2%となっています。

一方で、「⑤幼稚園の整備状況」の「よい」「ふつう」の割合が40.4%と低く、「④保育所の整備状況」の割合も47.4%となっています。



現在、あて名のお子さんと一緒に、地域子育て支援拠点事業（加古川駅南子育てプラザ、東加古川子育てプラザ）などを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

（子育て支援に関するアンケート調査より：問23）

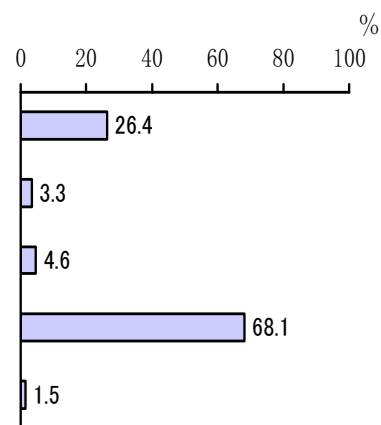
「利用していない」の割合が68.1%と最も高く、次いで「加古川駅南子育てプラザ、東加古川子育てプラザ」の割合が26.4%となっています。

年齢別でみると、他の年齢に比べ、1～2歳で「加古川駅南子育てプラザ、東加古川子育てプラザ」の割合が高くなっています。一方、0歳、3歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。

【年齢別】

N = 2107

加古川駅南子育てプラザ、東加古川子育てプラザ
 志方児童館
 市で実施している類似の事業
 利用していない
 無回答



単位：%

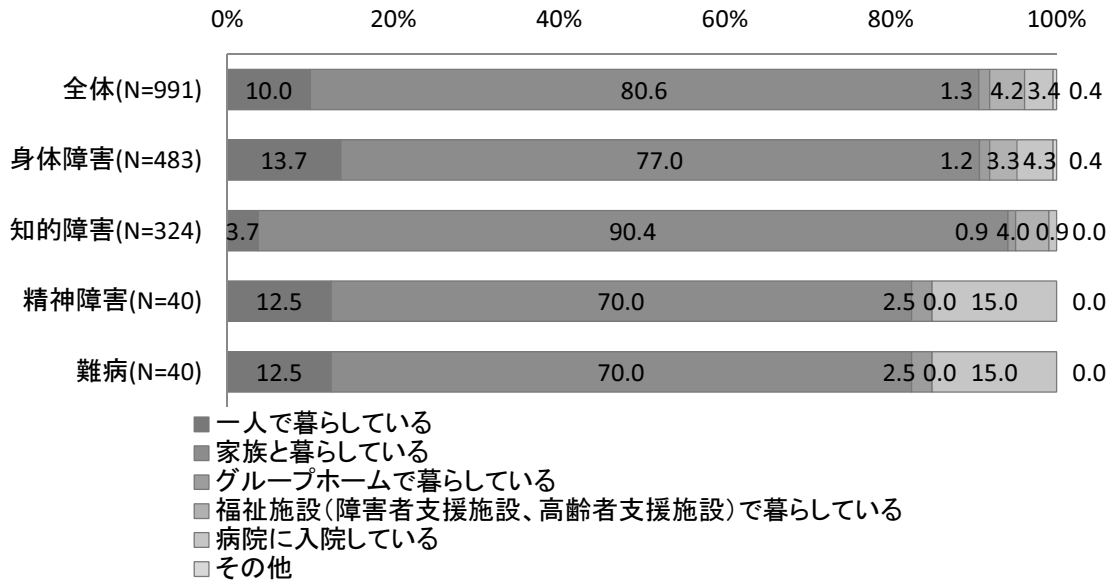
年齢	利用している事業	有効回答数 (件)	加古川駅南子育てプラザ、東加古川子育てプラザ	志方児童館	市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
0歳		308	21.1	3.2	9.1	70.8	1.9
1～2歳		682	44.1	3.7	6.3	49.6	2.2
3歳以上		1099	17.2	3.1	2.3	78.5	1.0

あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問 20)

現在の暮らして最も多かったのが「家族と暮らしている」(80.6%)、次いで「一人で暮らしている」(10.0%)となっています。

障害種別では、すべてにおいて「家族と暮らしている」の割合が多くなっています。



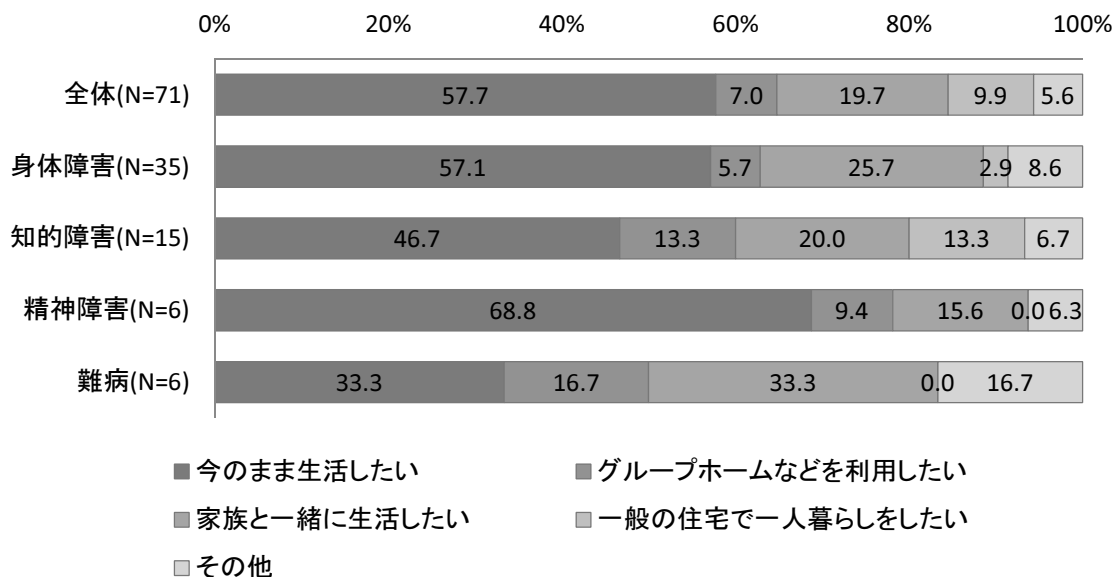
※問 21 は、問 20 で「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」又は「病院に入院している」を選択した場合

あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問 21)

地域生活の意向で最も多かったのが「今のまま生活したい」(57.7%)、次いで「家族と一緒に生活したい」(19.7%)となっています。

障害種別では、すべてにおいて「今のまま生活したい」の割合が多くなっています。

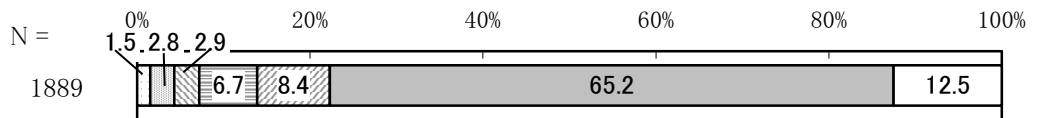


以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。
 (高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：1-9 問11)

週4回以上 週2~3回 週1回 月1~3回
 年に数回 参加していない 無回答

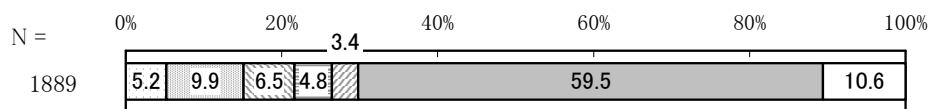
(1) ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が65.2%と最も高くなっています。



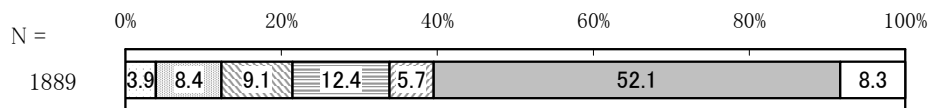
(2) スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が59.5%と最も高くなっています。



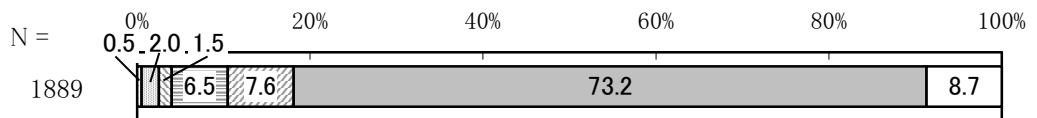
(3) 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が52.1%と最も高く、次いで「月1~3回」の割合が12.4%となっています。



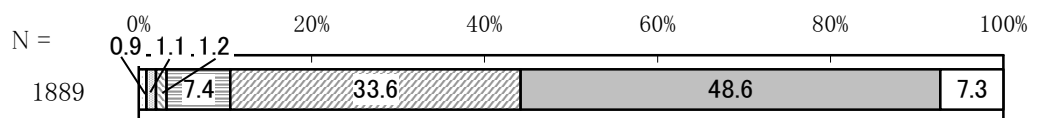
(4) 老人クラブ

「参加していない」の割合が73.2%と最も高くなっています。



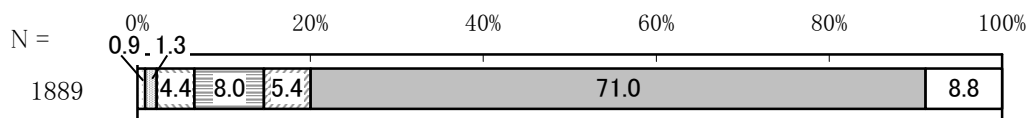
(5) 町内会・自治会

「参加していない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が33.6%となっています。



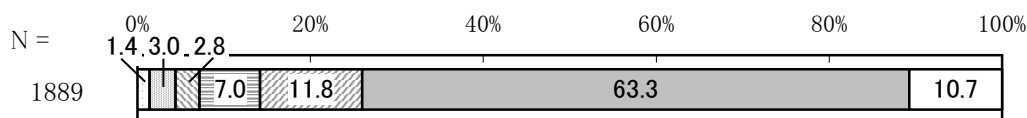
(6) 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が71.0%と最も高くなっています。



(7) その他の団体や会

「参加していない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が11.8%となっています。



見守りや介護が必要な人に対してボランティア活動などをしてみたいと思いますか。(〇はひとつ)

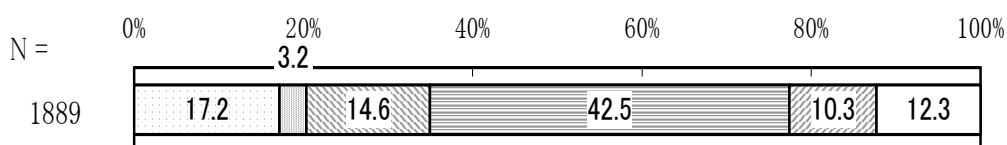
(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：1-9 問12)

「無償・有償にかかわらずしてみたい」と「有償であればしてみたい」を合わせた“してみたい”の割合が20.4%、「興味がない」「したくない(できない)」を合わせた“したくない”の割合が57.1%となっており、“したくない”の割合が、“してみたい”の割合の3倍近くとなっています。

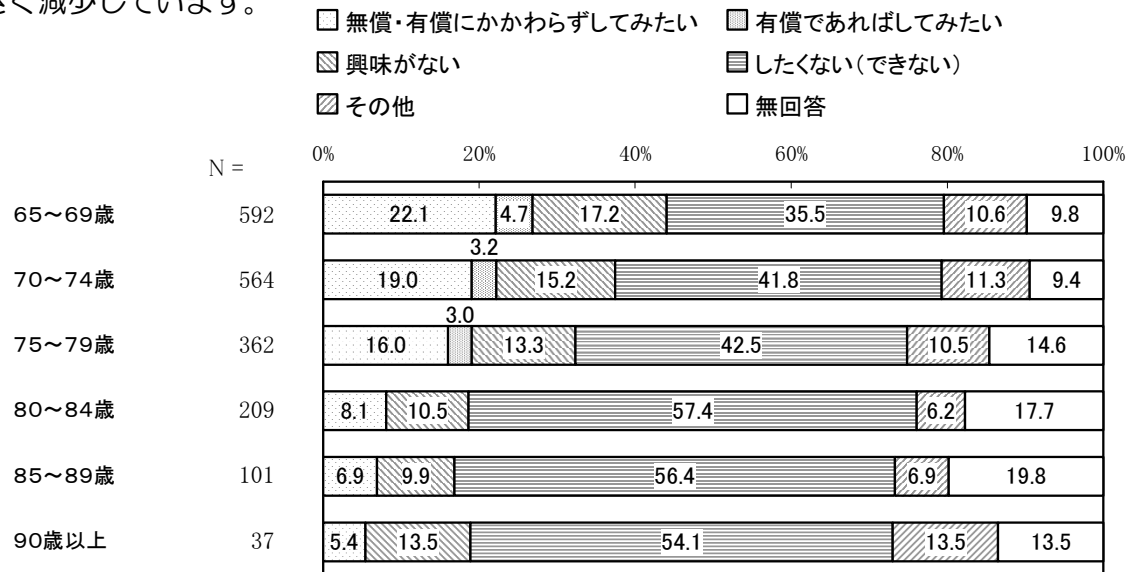
「その他」としては、以下のような回答がありました。

- 自分の体が健常でないから出来ない
- 主人と自分の事で体がもたない
- 親の介護で余裕がない
- フルタイム勤務で忙しい
- 孫の子守りで忙しい
- 以前に失敗した経験がある
- 耳が聞こえないので人の中には入っていけない
- プライバシーが有るから
- 精神的、体力的に自信がない
- 年齢的に難しい
- 続ける自信がない
- 外出する方法がない
- 内容によってはしてもよい

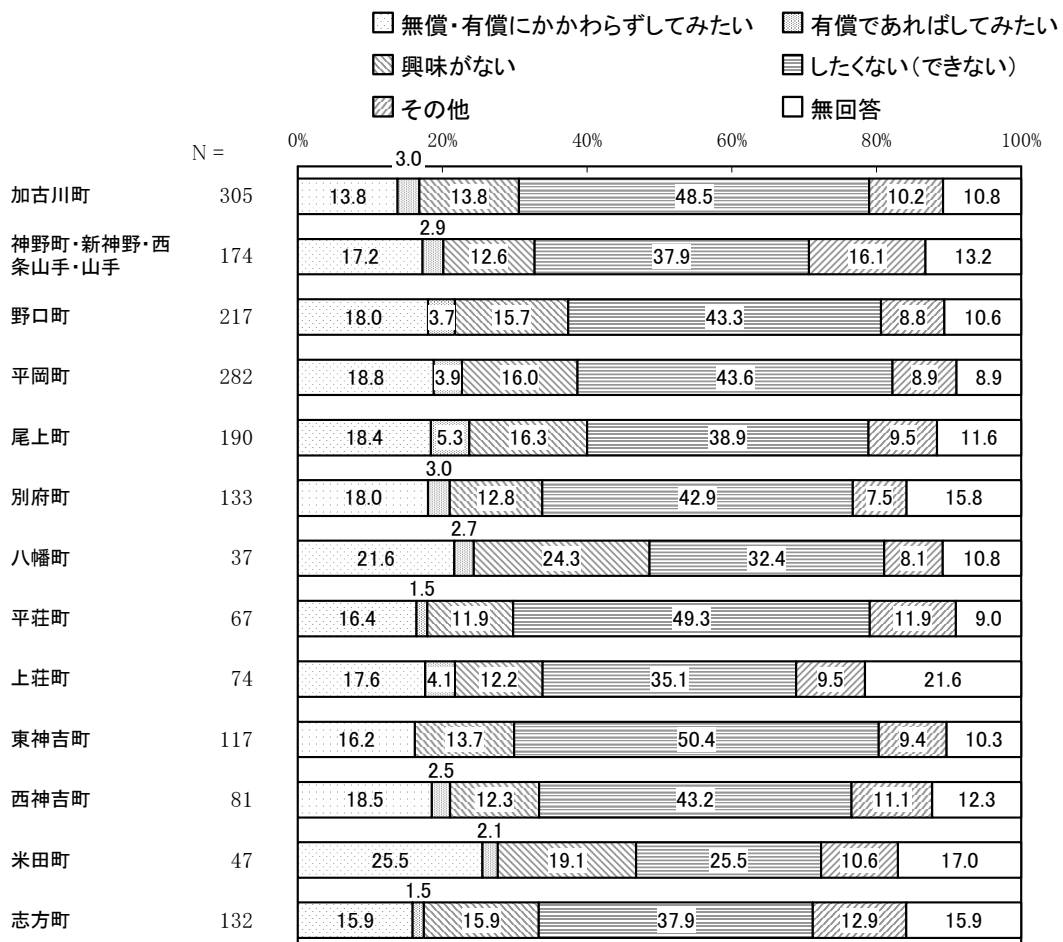
- 無償・有償にかかわらずしてみたい
- 有償であればしてみたい
- 興味がない
- したくない(できない)
- その他
- 無回答



【年齢別】年齢別でみると、65～69歳で「無償・有償にかかわらずしてみたい」と「有償であればしてみたい」をあわせた“してみたい”の割合が26.8%となっていますが、年齢が上がるにつれ“してみたい”の割合が減少し、80～84歳で“してみたい”の割合が大きく減少しています。



【地区別】地区別でみると、米田町で「無償・有償にかかわらずしてみたい」と「有償であればしてみたい」を合わせた“してみたい”の割合が27.6%と高くなっています。一方、加古川町や東神吉町で“してみたい”の割合は低く、16.8%、16.2%となっています。



②心配・悩みなどに関する状況

あて名のお子さんが生まれるにあたり、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

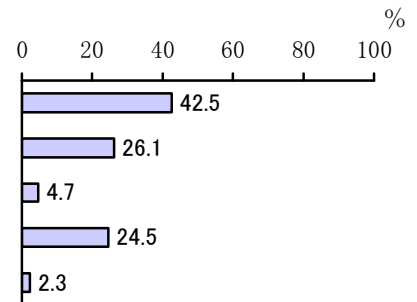
(子育て支援に関するアンケート調査より：問30)

(1) 母親

「もともと働いていなかった」の割合が42.5%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が26.1%、「取得せず退職した」の割合が24.5%となっています。

N = 2107

もともと働いていなかった
取得した(取得中である)
取得していない
取得せず退職した
無回答

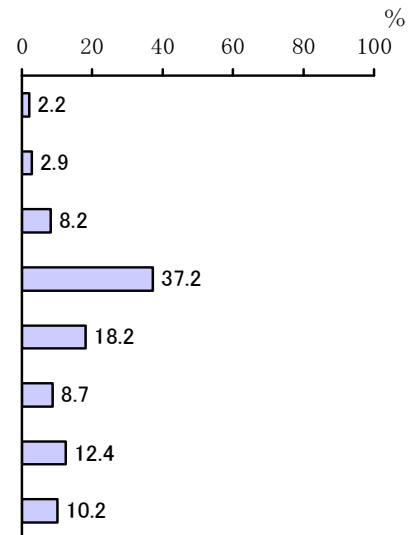


■取得期間

「10 か月～1年まで」の割合が37.2%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月まで」の割合が18.2%、「2年1か月以上」の割合が12.4%となっています。

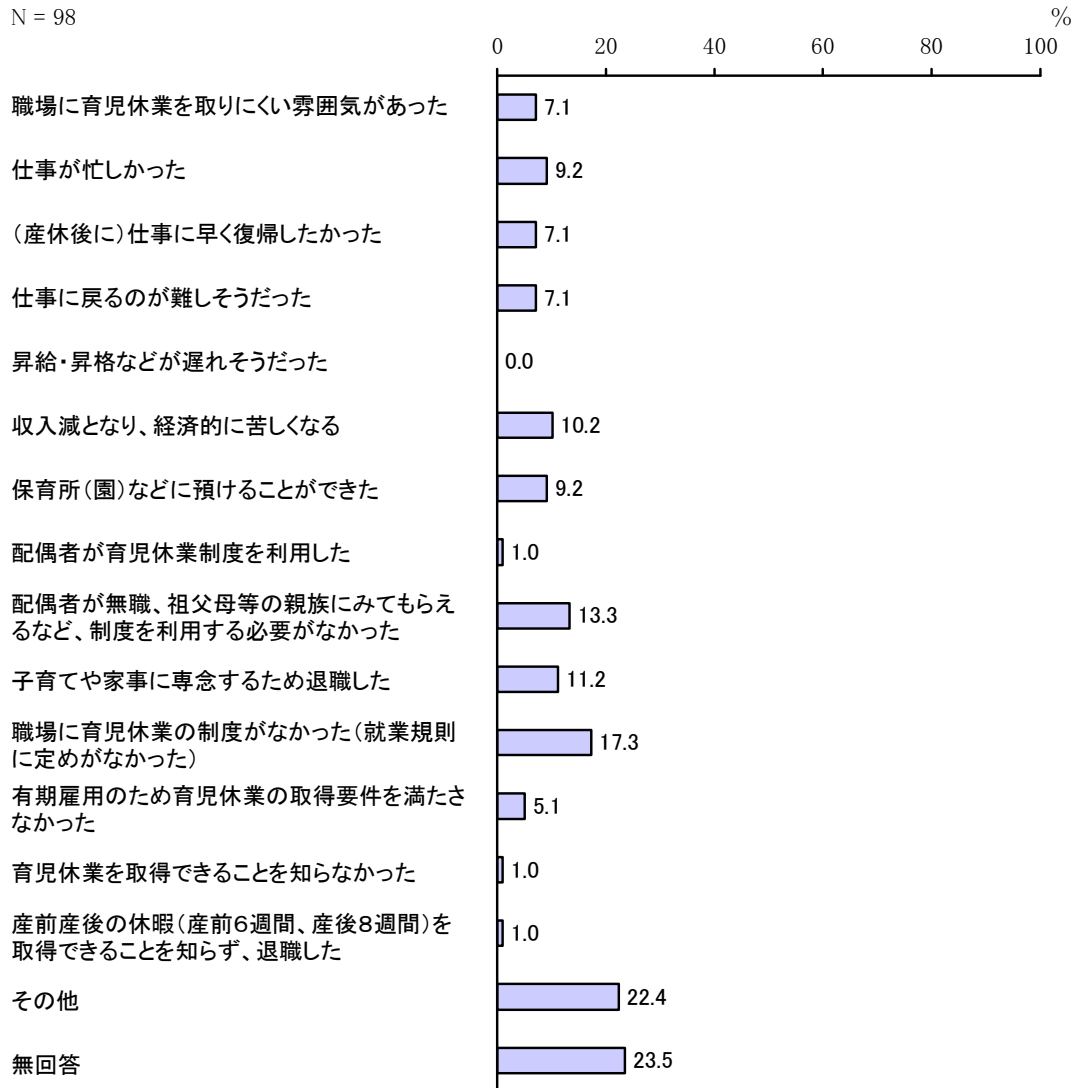
N = 549

2か月まで
3か月～6か月まで
7か月～9か月まで
10か月～1年まで
1年1か月～1年6か月まで
1年7か月～2年まで
2年1か月以上
無回答



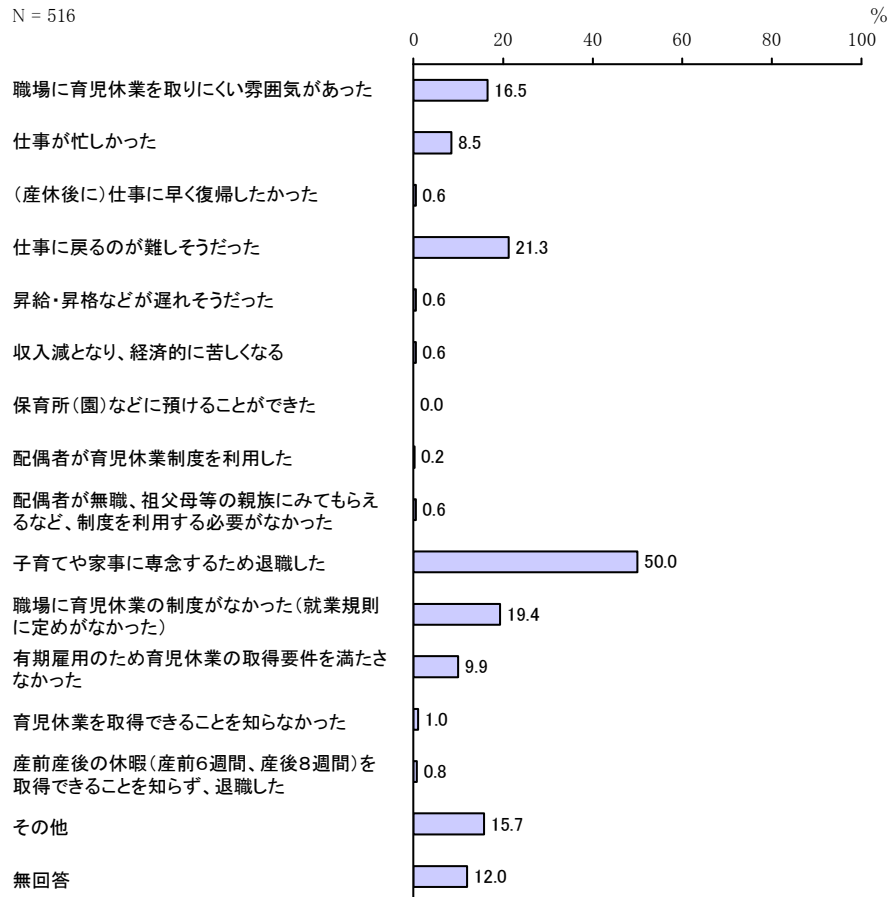
■ 取得していない理由

「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 17.3%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が 13.3%、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 11.2%となっています。



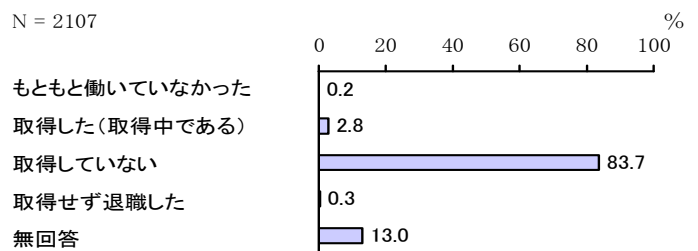
■退職した理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が50.0%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が21.3%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が19.4%となっています。



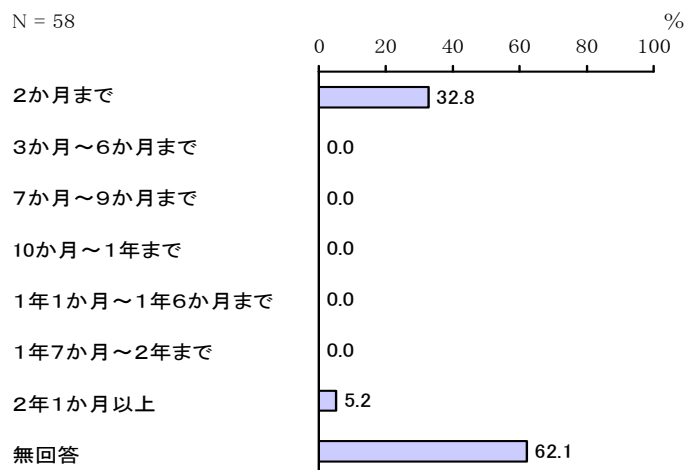
(2) 父親

「取得していない」の割合が83.7%と最も高くなっています。



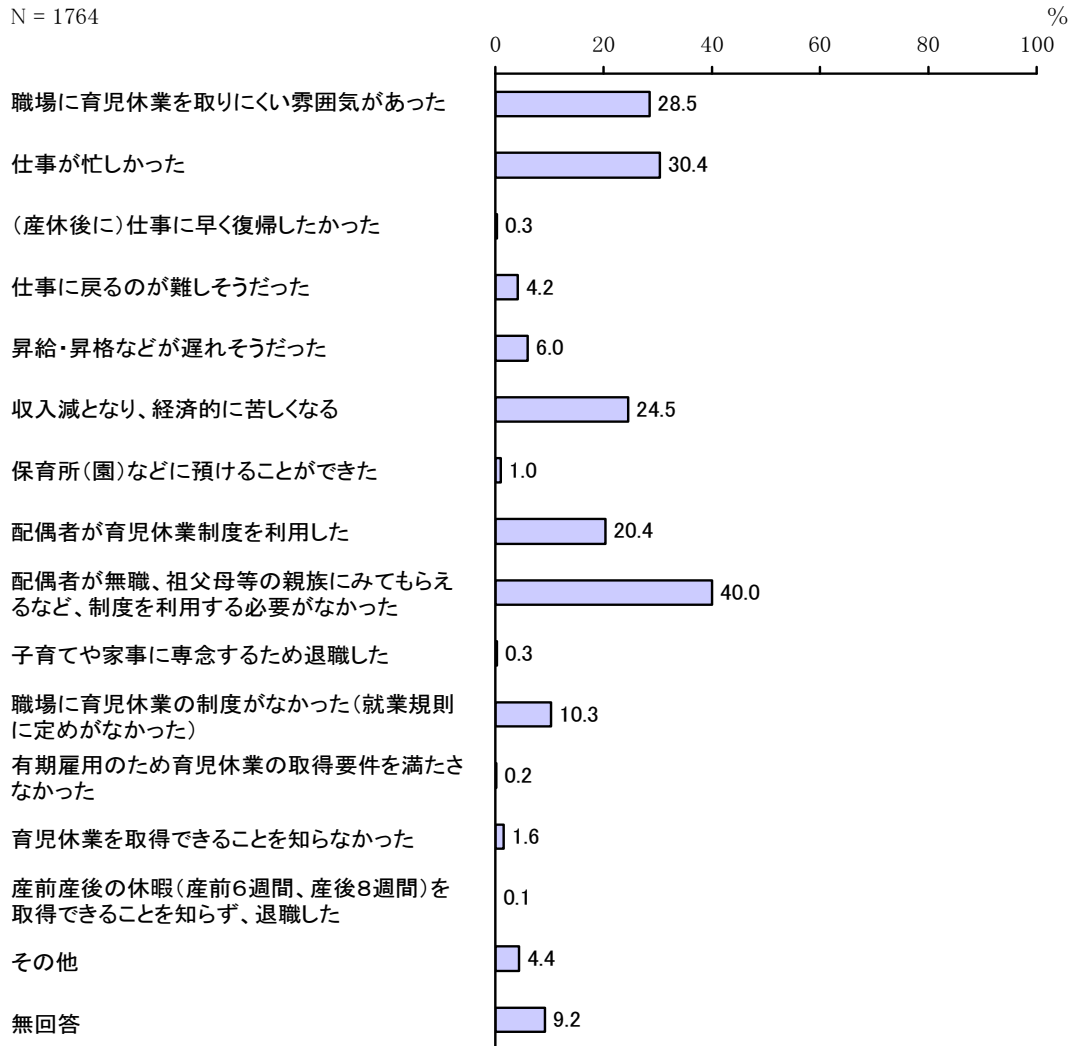
■取得期間

「2か月まで」の割合が32.8%と最も高くなっています。



■ 取得していない理由

「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が40.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が30.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が28.5%となっています。



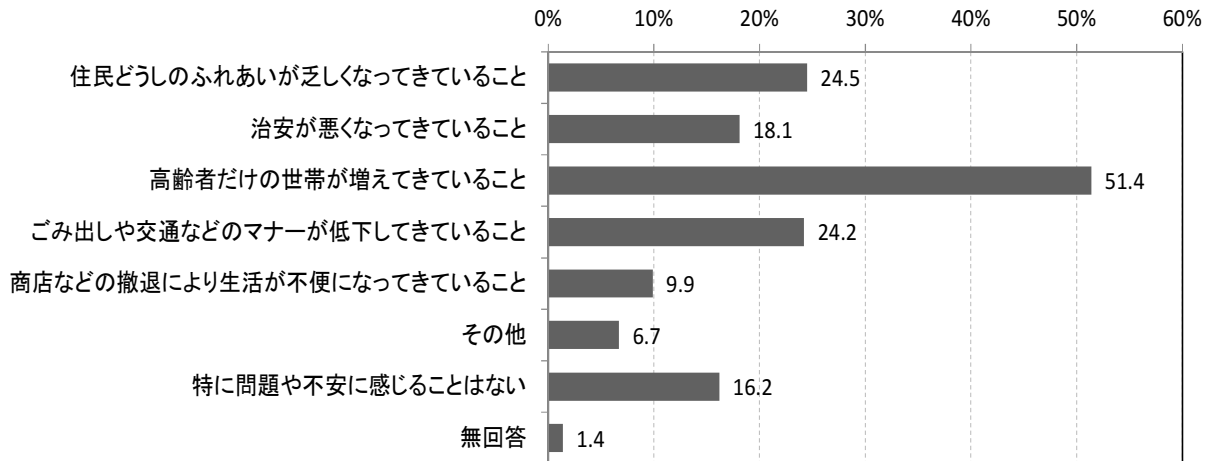
■ 退職した理由

「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」が1件となっています。

地域で不安に感じていることはなんですか。

(市民意識調査より：問4)

地域で不安に感じていることの質問に対し、「高齢者だけの世帯が増えてきていること」が51.4%となっています。次いで、「住民どうしのふれあいが乏しくなっていること」が24.5%、「ごみ出しや交通などのマナーが低下してきていること」が24.2%と続いています。

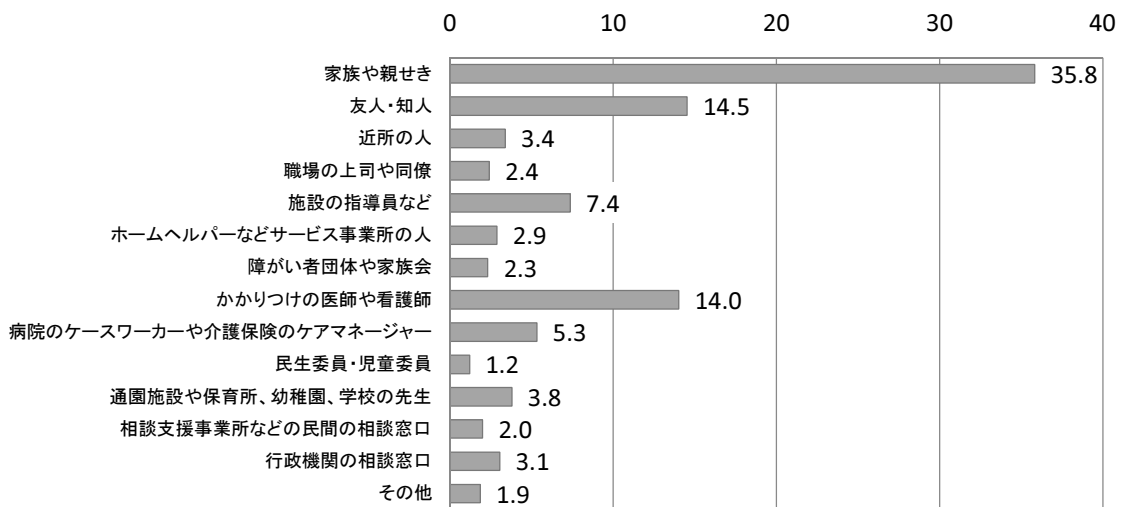


あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問34)

相談相手で最も多かったのが「家族や親せき」で35.8%となっています。次いで、「友人・知人」が14.5%となっています。



N=2,155

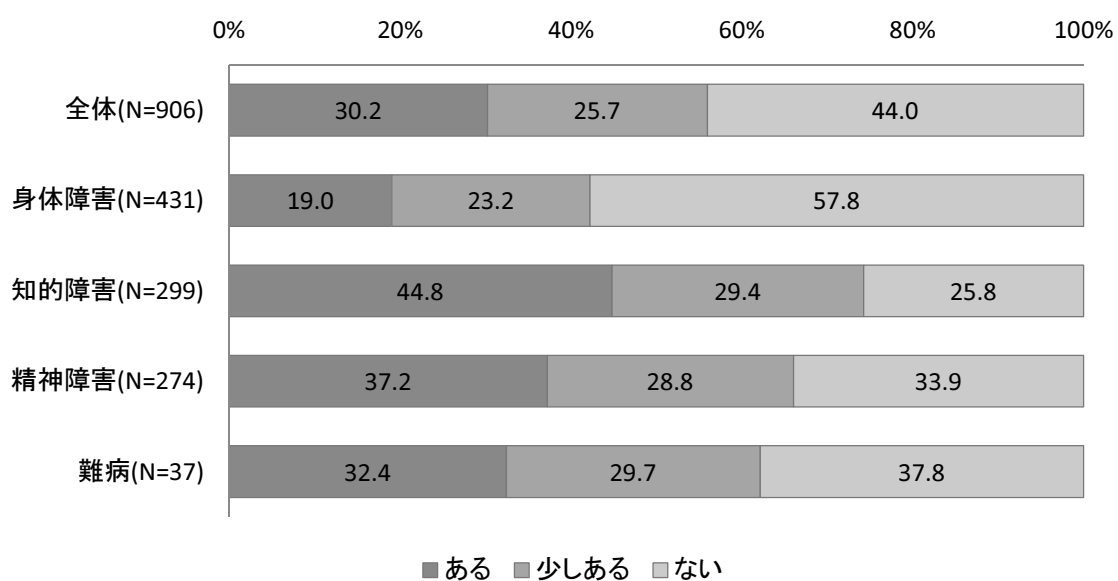
あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
（○は1つだけ）

（障害福祉に関するアンケート調査より：問36）

差別や嫌な思いの有無で最も多かったのが「ない」で44.0%となっています。

障害種別において「ない」と答えた方で、身体障がいのある方が57.8%、難病のある方が37.8%となっています。

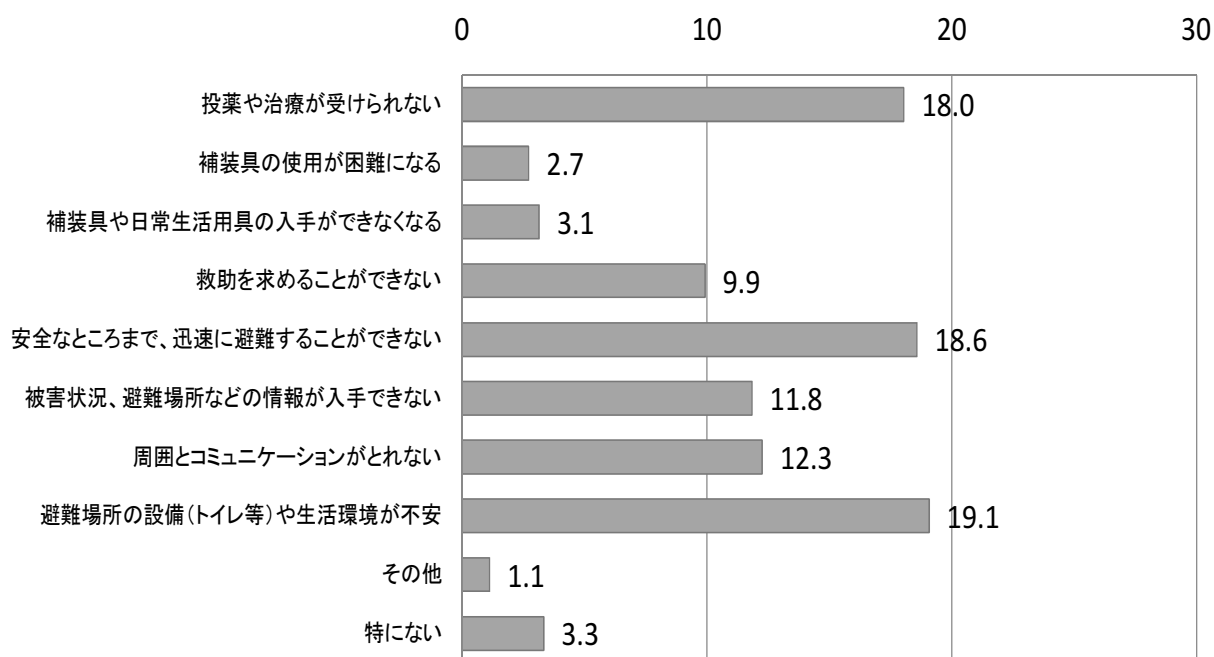
一方、障害種別において「ある」と答えた方で、知的障がいのある方が44.8%、精神障がいのある方が37.2%と割合が高くなっています。



火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問41)

災害時に困ることで最も多かったのが「避難場所の施設（トイレ等）や生活環境が不安」(19.1%)、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」(18.6%)となっています。



N=2,155

現在の生活で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：1-8 問18)

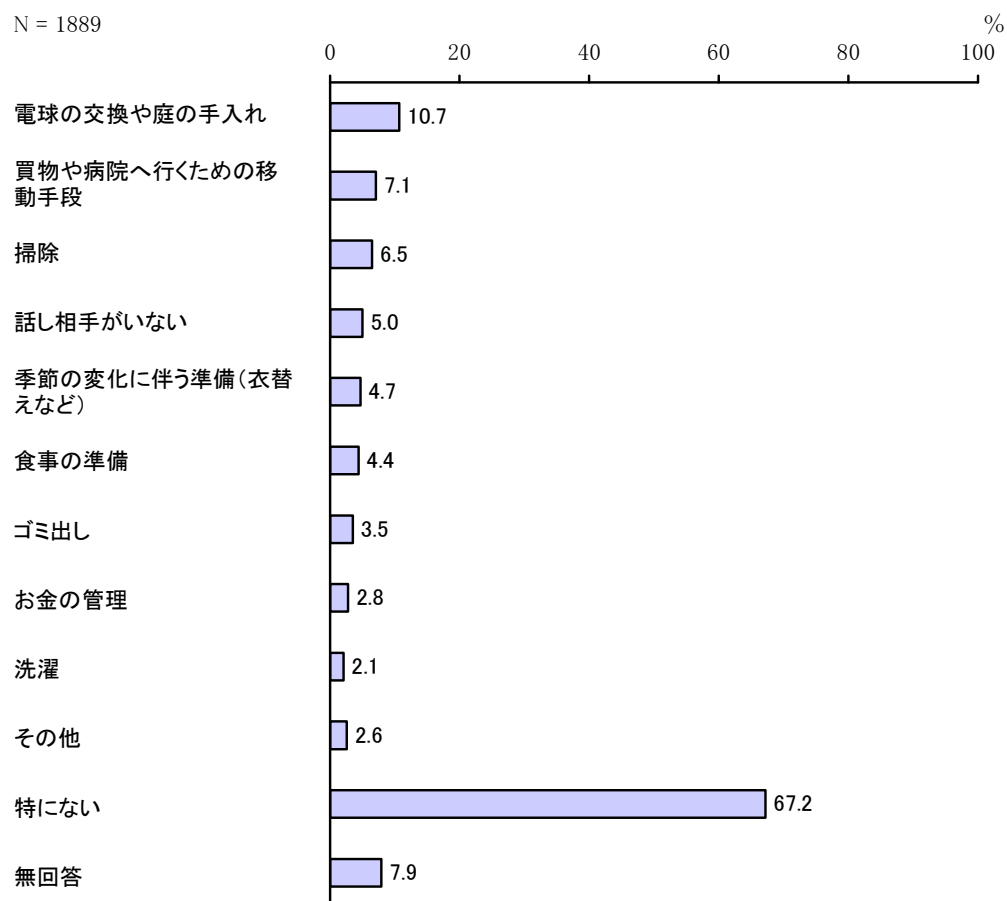
※一般高齢者

「特にない」の割合が67.2%と最も高くなっている一方で、それ以外の項目では「電球の交換や庭の手入れ」の割合が10.7%と最も高く、次いで「買い物や病院へ行くための移動手段」の割合が7.1%、「掃除」の割合が6.5%、「話し相手がない」の割合が5.0%、「季節の変化に伴う準備(衣替えなど)」の割合が4.7%、「食事の準備」の割合が4.4%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- ・ タンス等大きな物を移動させる力仕事
- ・ すねが痛いので、何事もしにくい
- ・ 路線バスの回数が少ない
- ・ 経済的不安
- ・ 日常的な買い物
- ・ 雑草の処理
- ・ 2階への昇降(階段)
- ・ 耳が遠いので人の話が聞きにくい
- ・ 重い物の運搬、高い所の作業
- ・ 雨の日に困る
- ・ 義母の介護
- ・ 妻の病気
- ・ 家の近くの路線バスが廃止
- ・ 田畑の草取り
- ・ 眼の病気
- ・ 同居者との不仲

N = 1889



今後の生活のことを考えると何が心配ですか。(あてはまるものすべてに○)

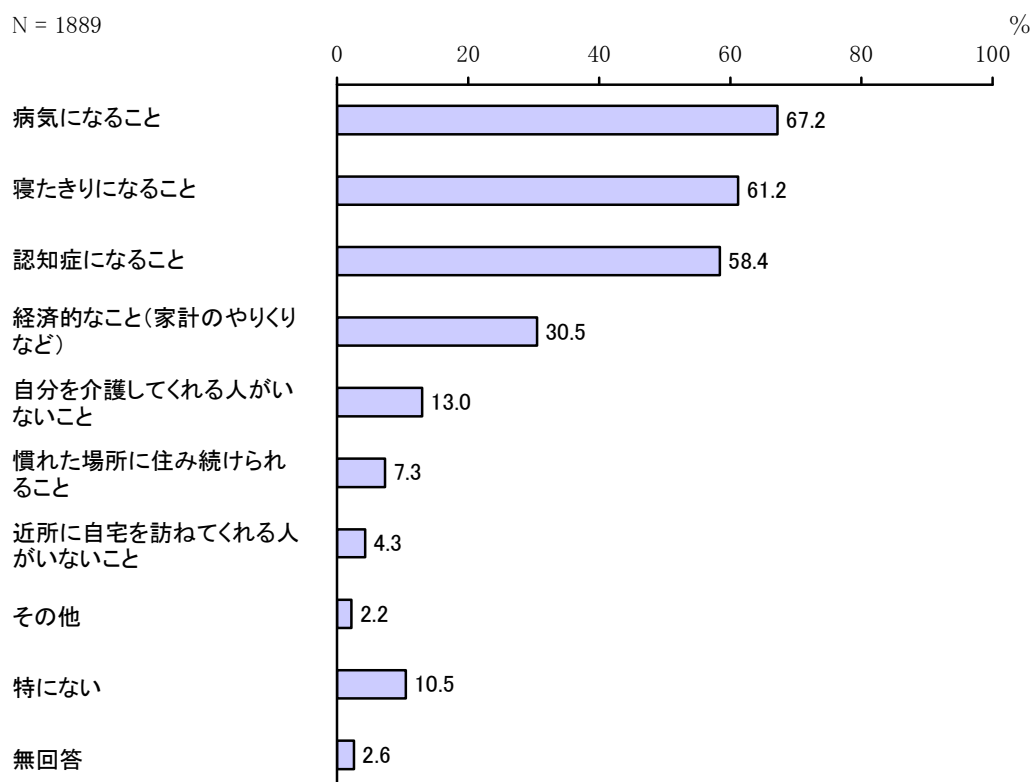
(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：1-8 問 19)

※一般高齢者

「病気になること」の割合が67.2%と最も高く、次いで「寝たきりになること」の割合が61.2%、「認知症になること」の割合が58.4%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- ・ 家族に世話になっていること
- ・ 認知症になっている
- ・ 目の症状が悪化していること
- ・ 自分一人で出掛けられないこと
- ・ 病院や店が近くにないこと
- ・ 障がいのある家族のこと
- ・ 買い物
- ・ 親の介護
- ・ 子どもがいない、夫婦2人暮らしで老後の生活のこと
- ・ 車の運転ができなくなると日常の行動ができない心配



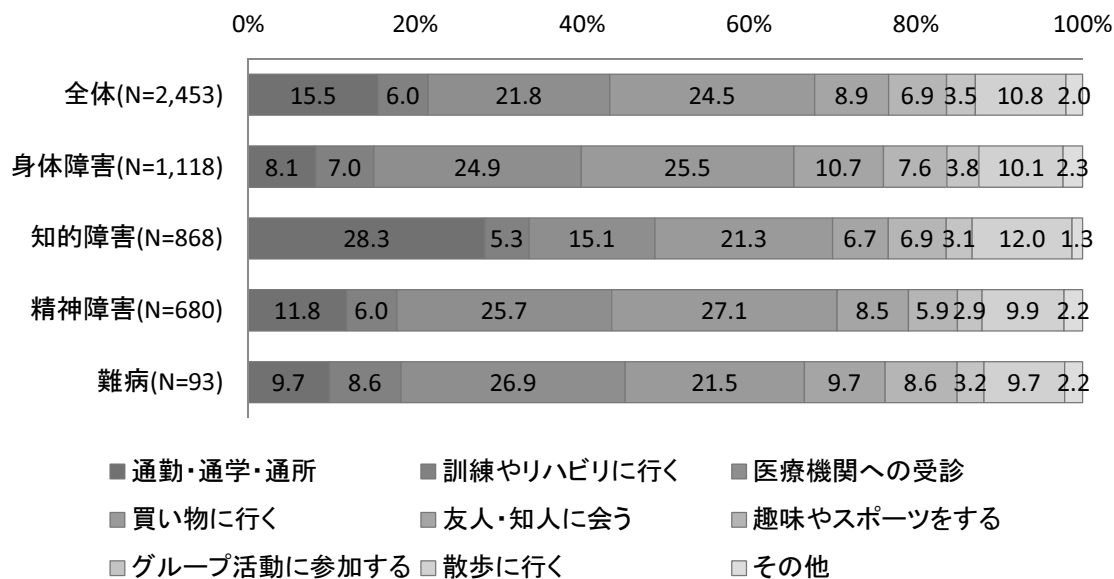
③情報入手の状況

あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問 25)

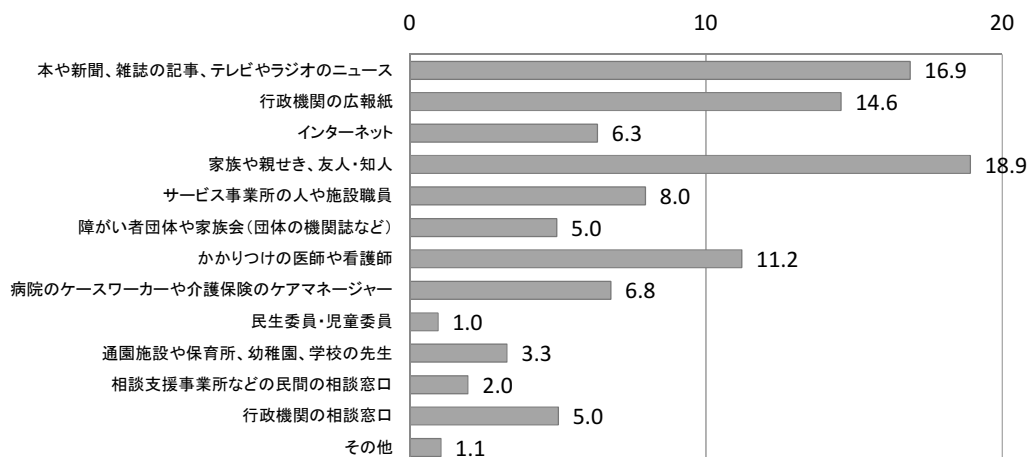
外出の目的で最も多かったのが「買い物に行く」で 24.5%となっています。次いで、「医療機関への受診」が 21.8%となっています。



あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問 35)

情報の取得方法で最も多かったのが「家族や親せき、友人・知人」で 18.9%となっています。次いで、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 16.9%、「行政機関の広報紙」が 14.6%と続いています。



N=2,155

介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：4-2 問8)

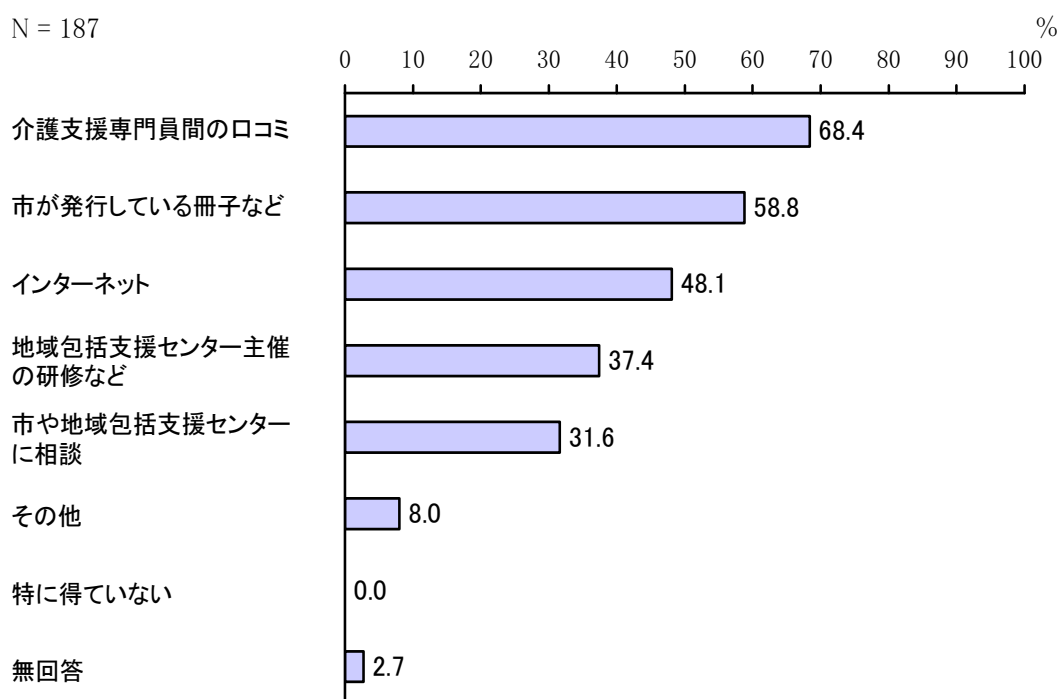
※ケアマネジャー

「介護支援専門員間の口コミ」の割合が68.4%と最も高く、次いで「市が発行している冊子など」の割合が58.8%、「インターネット」の割合が48.1%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- 法人の学習会
- 事業所内研修
- 福祉新聞
- 介護支援専門員協会発行の冊子
- 異業種（デイサービス、G ホーム訪看等）からの口コミ
- 事務所に配置してあるパンフレット
- 介護支援専門員協会の資料
- ケアマネ会の情報
- 事業所への営業。利用者の家族

N = 187

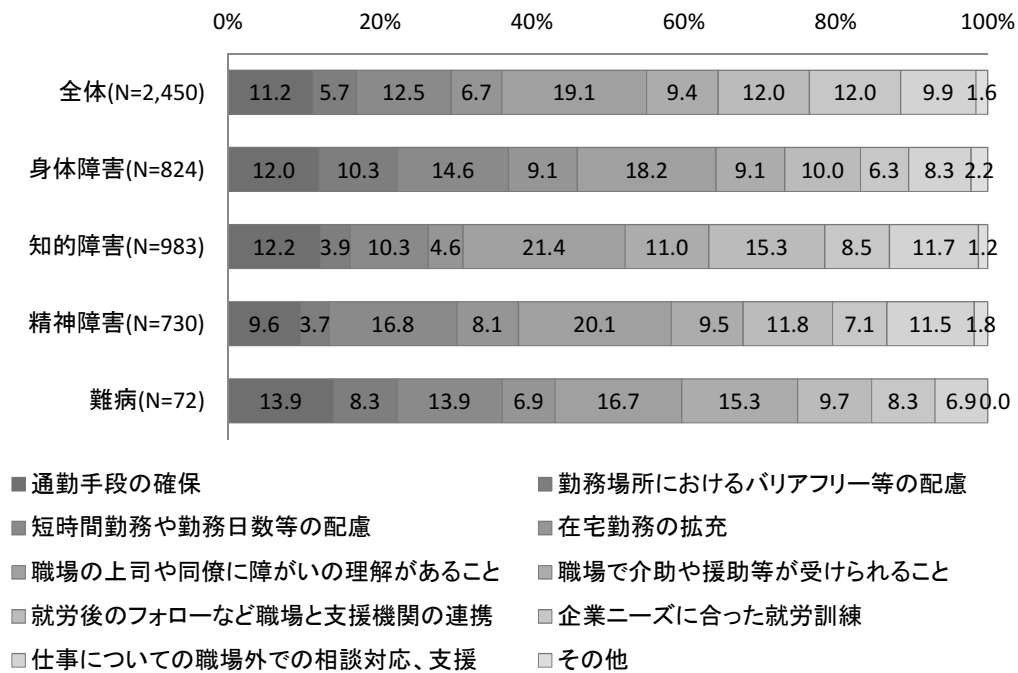


④意見・要望について

あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

(障害福祉に関するアンケート調査より：問31)

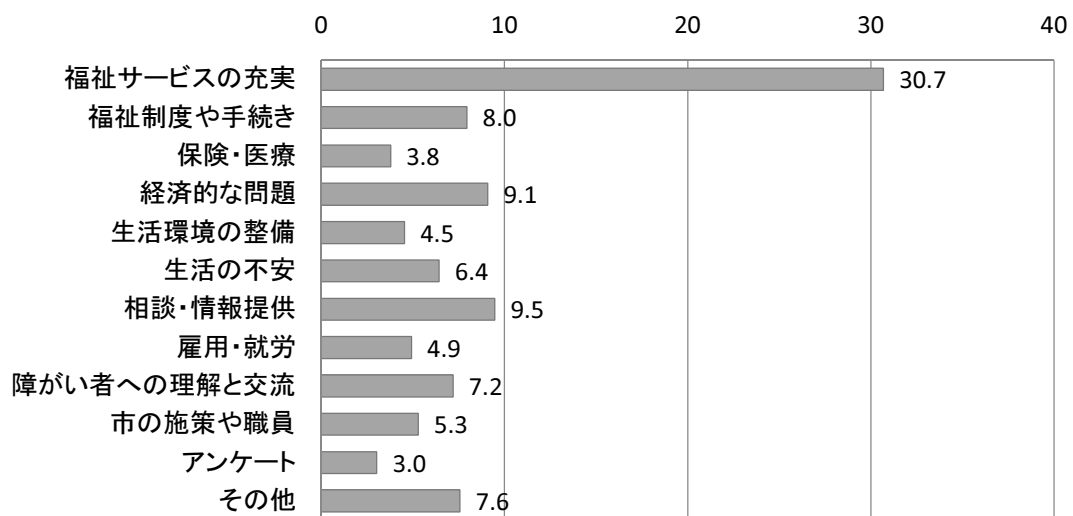
障がい者の就労支援で最も多かったのが「職場の上司や同僚に障害の理解があること」(19.1%)、次いで「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(12.5%)となっています。



意見・要望について

(障害福祉に関するアンケート調査より：(10))

障害福祉に関する意見・要望で最も多かったのが「福祉サービスの充実」で30.7%となっています。次いで、「相談・情報提供」が9.5%となっています。



N=264

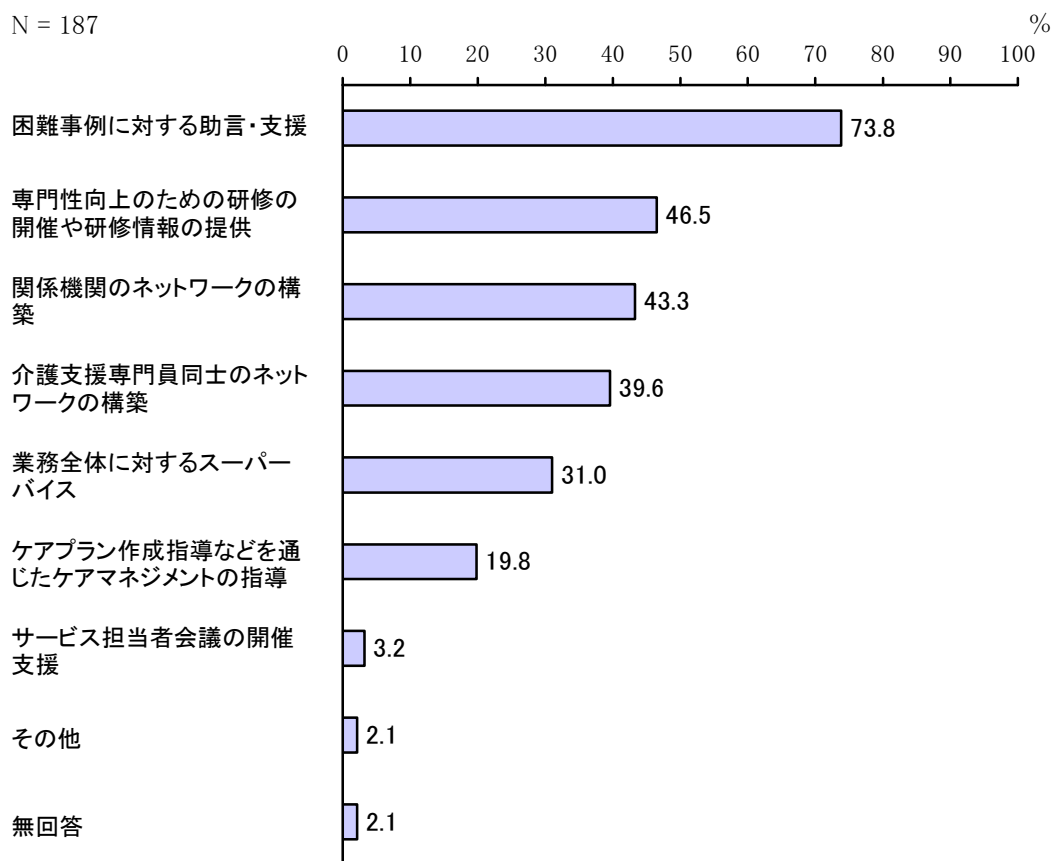
地域包括支援センターに期待する役割は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
 (高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：4-3 問7)

※ケアマネジャー

「困難事例に対する助言・支援」の割合が73.8%と最も高く、次いで「専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供」の割合が46.5%、「関係機関のネットワークの構築」の割合が43.3%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- ・ケアマネの支援
- ・主職員が3名だけでは対応に限界があるとする



今後市に期待する役割は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：4-3 問8)

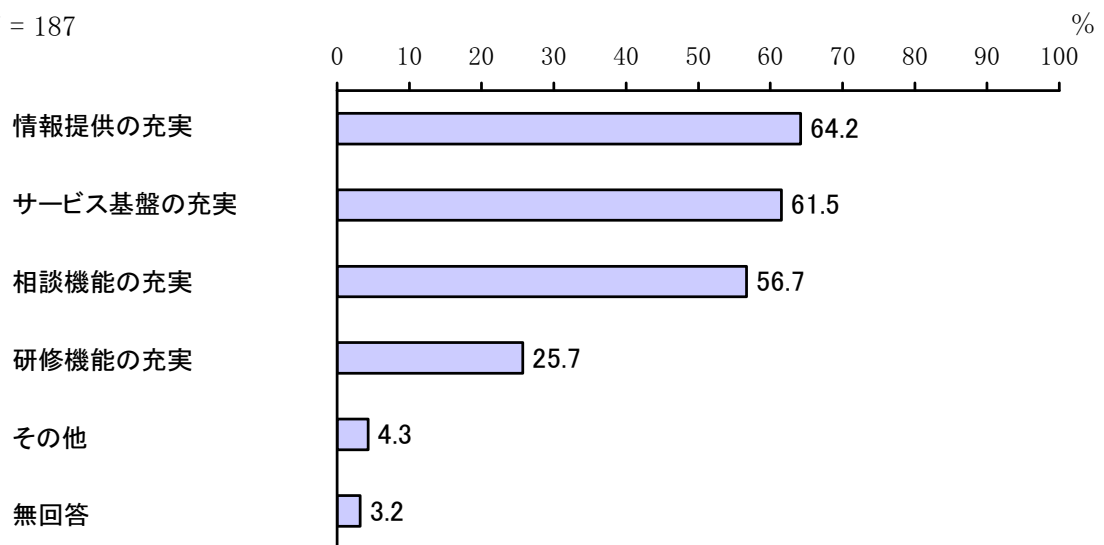
※ケアマネジャー

「情報提供の充実」の割合が64.2%と最も高く、次いで「サービス基盤の充実」の割合が61.5%、「相談機能の充実」の割合が56.7%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- ・認定調査時の正確さ、聞き取り ・行政主体の医療、福祉の充実
- ・介護支援専門員への後方支援 ・窓口対応の改善
- ・顔が見える関係づくり、情報交換の場
- ・地域ケア会議の積極的な参加、介入、展開
- ・軽度者に対する支援と公民館開催のサークルとのパイプ役
- ・その分野での確実な返答（窓口の職員によって返答が違う事が多々ある為）

N = 187



今後、関係機関との連携を図るために必要なことは何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

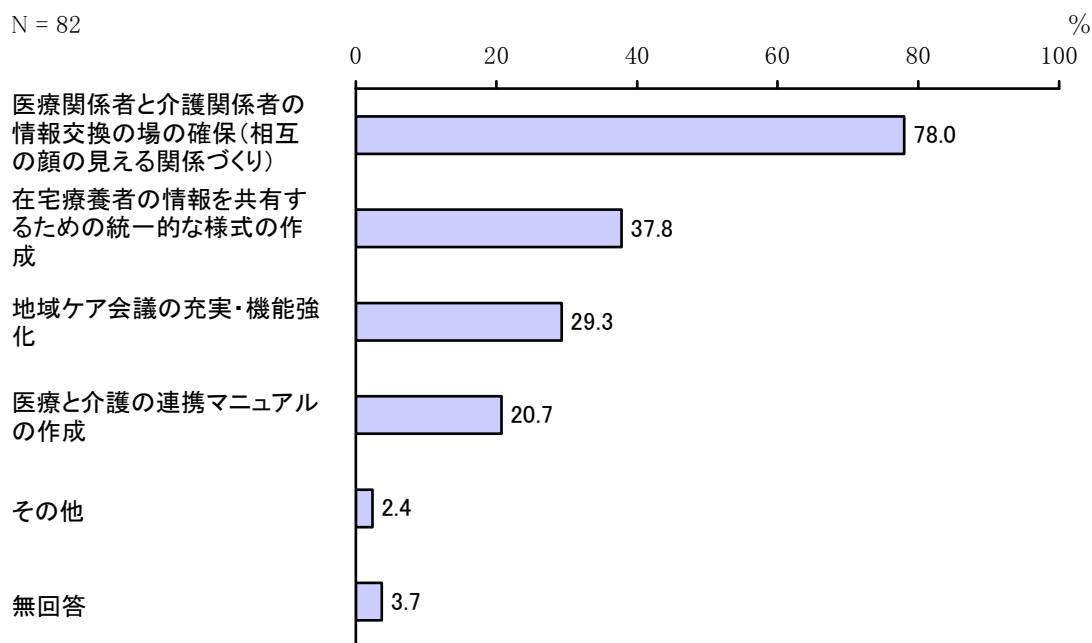
(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：5-3 問6)

※看護事業所及び訪問看護師

「医療関係者と介護関係者の情報交換の場の確保（相互の顔の見える関係づくり）」の割合が78.0%と最も高く、次いで「在宅療養者の情報を共有するための統一的な様式の作成」の割合が37.8%、「地域ケア会議の充実・機能強化」の割合が29.3%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました

- ・病院の先生、看護師にもっと在宅生活というものを知る必要がある
- ・ケアマネジャーもプランを立てるだけでなく、生活の現状をしっかりと見て変更すべき所は早目に変更して頂きたい、勉強不足と感じる



在宅医療を利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

(高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定における調査より：5-4 問2)

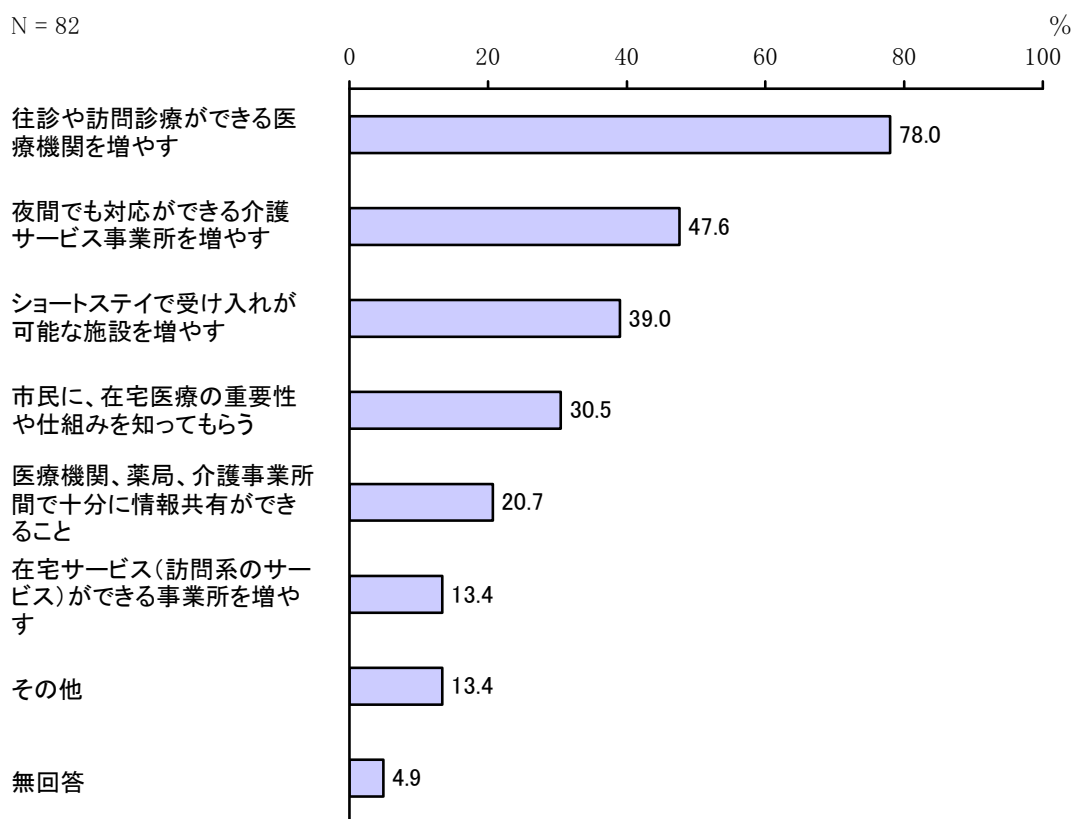
※看護事業所及び訪問看護師

「往診や訪問診療ができる医療機関を増やす」の割合が78.0%と最も高く、次いで「夜間でも対応ができる介護サービス事業所を増やす」の割合が47.6%、「ショートステイで受け入れが可能な施設を増やす」の割合が39.0%となっています。

「その他」としては、以下のような回答がありました。

- 容体急変時等の場合の、公立等大きい病院の対応
- 重度の方を受け入れる病院や施設（ショートステイも）を増やす
- 事業所を増やすだけでなく、事業所の人員確保が必要
- 在宅医療にかかわる職員の確保の必要性
- 重度、要医療を受け入れてくれる施設病院を増やして欲しい、家族の為にレスパイトの意味で
- 基幹病院（市民病院、医療センター等）のドクターが患者を往診にたくす勇気を持つこと

N = 82



2 加古川市地域福祉計画策定について

(1) 加古川市地域福祉計画策定委員会 委員名簿

	区 分	所 属	委員氏名
1	学識経験を有する者	兵庫大学 副学長	◎河野 真
2		関西福祉大学 社会福祉学部准教授	谷口 泰司
3	保健、医療及び福祉に関する 知識及び経験を有する者	加古川医師会 理事	○西村 正二
4		加古川市民生委員・児童委員連合会 会計	木多 雍子
5		加古川市社会福祉協議会 事務局総務課長	水田 利一
6		2市2町老人福祉事業協会 理事	久保 恭子
7	地域及び市民団体を代表する者	加古川市町内会連合会 理事	坂田 正人
8		加古川市女性団体連絡会 副会長	前田 恵津子
9	市民の中から市長が 選任した者	公募による市民	藤井 一郎

※◎：委員長、○：副委員長

(2) 加古川市地域福祉計画策定委員会 開催経過

	開催年月日	開催場所	内容
第1回	平成27年 7月16日	加古川市役所 191会議室	委嘱状の交付 委員長・副委員長の選出 計画の位置づけ及び今後のスケジュールについて 加古川市の現状について 計画の方向性について 各種アンケート等の利用について 意見交換会の開催内容について
第2回	平成27年 9月25日	加古川市立 勤労会館 101会議室	計画の策定体制について 第2期計画における取り組みの現状と課題について アンケートのまとめからみる現状と課題について 意見交換会及びヒアリング結果からみる現状と課題 について 第2期計画の総括について 第3期計画の施策の体系(案)について
第3回	平成27年 11月13日	加古川市立 勤労会館 101会議室	アンケートのまとめからみる課題について 第2期計画の課題と総括について パブリックコメントの実施について 第3期計画素案について
第4回	平成28年 1月25日	加古川市役所 議場棟 第1委員会室	パブリックコメントの実施結果について
第5回	平成28年 2月18日	加古川市立 青少年女性 センター 大会議室	第3期計画本案について

第3期加古川市地域福祉計画

未来につながる 支えあいのまち 加古川

～いま一度 みんなでつなぎ育てる ^{まち}地域づくり～

発行 平成28年3月

加古川市 福祉部 高齢者・地域福祉課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000番地

TEL : (079) 427-9205 FAX : (079) 421-2063

E-mail : fukushi@city.kakogawa.hyogo.jp